



まちづくり交流館



小野学区がねらわれてる?!

居空き：居住者が在宅中の空き巣のこと
最近、特殊詐欺をはじめ、点検詐欺、空き巣、日中の居空き、強盗…と、犯罪者はさまざまな手口を用い、かつ凶暴、凶悪化しています。

10月、小野学区と真野北学区でも**空き巣被害が発生**しました。高齢の方やひとり住まいのお宅、また留守宅が狙われやすいです。**朝日二丁目の場合**、その半月ほど前、被害に遭われたお宅の正にその裏側のお宅で《お宅の屋根が傷んでいるので修繕した方がいい》と不審な業者(点検詐欺?!)が侵入して来たため追い返し、警察に通報するということがあったばかりでした。**湖青二丁目でも同様の不審者が出没**。下見をしていたに違いありません。この12月にも**水明一丁目**で空き巣被害が出ました。高齢者が犯罪者に狙われることが多いといえます。小野学区が狙われているのではないかと心配になります。上記のように見知らぬ人が来たときは次の点に注意してください。

① 絶対に家に入れないこと。

朝日二丁目の場合のように無断で入ってきたときは、直ちに
大津北署 077-573-1234 か **110番** 通報してください。

② 怪しい訪問者や不審車がうろろしているのを見かけたら、

遠慮なく、大津北署へ通報してパトロールを依頼しましょう。そのあと、自治会にも報告してご近所で情報を共有してください。

防犯カメラを設置するお宅が増えつつあります。ある自治会では家庭用防犯カメラ設置の検討をはじめました。費用が掛かることですが各家庭でも下記のような、できることから対策を講じていきましょう。



点検詐欺や強盗、空き巣にあわない！ 対策の参考

ドアの錠を2つにする



カメラ付きインターホンを設置する



補助錠を窓に設置する



防犯砂利を活用する



窓ガラスに防犯シートを貼る



光るセンサーライトを設置する



宅配は宅配ボックスを活用する



防犯カメラを設置する



集えば楽し！ 小野学区体育祭



10月13日(日)、この数年間コロナ禍や悪天候、グラウンドコンディションが悪いといったさまざまな事情から中止がつづいていた体育祭をやっと実施することができました。晴天の下、初めての参加で満面の笑みで競技する新住民の方や、数年の間にその歳を重ね、以前の自分とのギャップに顔をしかめる方、新しい家族を抱えて楽しむ方…などなどおおぜいの住民のみなさんが交流とともに楽しい時間を過ごすことができました。

今年の特徴は、なんといっても午前中に準備をし午後を競技に当てるという短縮バージョンだったことです。高齢化だけでなく、壮年の方も雨天になったときは連日に渡ってのエントリーが困難であることなどから、1日で、しかも雨天のときも体育館を利用して必ず実施するという新企画のスタート年でした。成否はいかがでしたでしょうか？体育祭関係者は半ば以上の好感を抱いて来年に向けて点検中です。自治会対抗の成績は次のとおりでした。

優勝：水明1丁目 2位：湖青1丁目 3位：水明2丁目



笑😊顔😊笑😊顔の ハロウィンスタンプラリー

10月27日(日)、今年の異常な暑さがまだ残っているような日でしたが、こどももおとなもそんなものはなんのその、汗をかきながらハロウィンを楽しむ姿がありました。

その日は、衆議院議員選挙の投票日でもありました。なにかと慌ただしい10月11月。ハロウィンを実施するかしないか…計画の段階で、決断に時間はかかりませんでした。自治会や関係団体ぐるみで、こどもたちが喜び姿を楽しもうとの協力を得て、時間厳守と安全確保を最重点に実施しました。

当日は小野小学校の校長や先生までがゴール地点に参加され、大いににぎわい、楽しい光景が幾度も、あちらこちらでくり広げられました。子どもたちだけでなく、お父さんお母さんたちもこれまで以上にしっかり仮装された姿がありました。ゴールには警察のパトロールカーと消防団小野学区班の消防車、小野学区の青パト、警察官と消防団員も待ち構えており、人気の的になっていました。



子どもたちの感想は、「これからこんな行事に参加しますか」の問にYESが3年連続100%でありました。今後とも少しずつ改善を加えながら継続して行きます。

(ハロウィンの記録写真は小野学区まちづくり協議会のHPでご覧になれます)

参加数 202名 (スタッフを除く)
小学生未満82名 小学生76名 10代5名 その他39名

ハロウィンスタンプラリー アンケート回答数		96	
1	一人で参加した	6	6%
	二人以上で参加した	90	94%
2	スタンプラリーは楽しかった	96	100%
3	全部のポイントを回れた	84	88%
4	自治会館の場所は分かった	84	88%
5	交通事故など危険と思ったことがあるか (走ったから) (車も人も通れるから)	13	14%
6	これからもこんな行事に参加しますが	96	100%



災害に備えて… 大津市総合防災訓練



避難所運営訓練会場のほぼ全景 と 消防・警察・自衛隊・医療・インフラ及び輸送関係企業等々の訓練会場風景

11月10日(日)、大津市総合防災訓練を実施しました。小野小学校を主会場として、大津市災害対策本部をはじめすべての参加者が1200名を超えるという壮大な規模による訓練でした。大津市・消防・警察・自衛隊関連などの参加者約250名、来賓・他学区からの見学者等約650名、小野学区住民は、6自治会のファーストコンタクト(初動の自助共助作業)への参加者が217名、地域の見学者を含めると約300人と推定されます(大津市発表)。参加された方々は、見聞し体験した訓練、体験、展示から、能登や東日本で起きた被害、おびただしい数の犠牲者や被災者の悲痛、駆けつけた救援者の苦労の一端を、《明日は我が身》と、体感されたことでしょう。

「まちづくり協議会」が発足したとき、小野学区での防災関連の「現状・課題」を次のように捉えました。《堅田断層に直接する地理だけに……総合防災訓練を実践、継続しているが、弱点として、いざという時に活動できる人材が足りないということを指摘しておかなければならない。自主防災会の組織強化というより、「まちづくり協議会」の発足後は関係団体が協働して最低70名程度の、予想される南海トラフのような大災害に備えて災害対策本部組織を立ち上げ、総合的実際の防災能力を向上させ得る、防災の中核部隊を形成しておきたい。混乱した被災地になることは、絶対避けたい。同時に、自治会防災会の強化に繋がればと願っている》と。

私たちの願いや目標の実現はまだ道半ばであります。今回の総合訓練を通して、これまでの防災訓練でできないでいた組織的、総合的訓練のあり方や、具体的で個別的な訓練について体験し学ぶことができました。今後、年を重ねて一つひとつ実現していくためのよい契機となった確信しています。

大津市はじめ、協力してくださったすべての団体及び住民のみなさんに感謝を申し上げます。



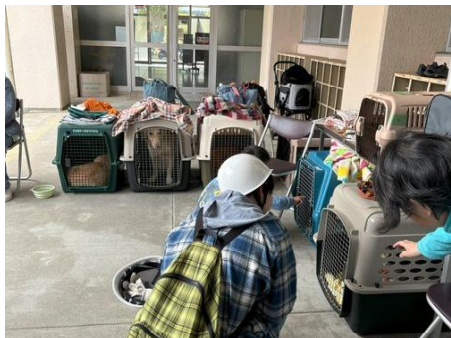
避難訓練 一陣到着



日赤奉仕団による炊き出し



避難所テントの組み立て設置



ペット避難訓練スペース



土砂災害(車両遭難者)の救助訓練



屋上避難者の救助訓練



協賛金ありがとうございます 集計金額 **437,931円**ありました 9月末現在

小野学区の自治会員と自治会員でない方、皆様から協賛をいただきました。小野学区社会福祉協議会活動の貴重な財源ですので、事業活動に役立てていきます。



ふれあいサロンバス

古い家屋を利用したまちづくりを巡る

「湖北の文化と歴史を訪ねて！」

12月13日(金)。社協恒例の「ふれあいサロンバス」、今回は長浜黒壁周辺街歩き・曳山博物館見学～長浜城歴史博物館の見学。いつも応募者が募集人員をオーバーする好評の催しですので、できるだけ多くの方に参加していただこうと大型バスをチャーター。参加者48名(応募者70名)とスタッフ8名、合計56名が参加しました。冬型の気圧配置で早朝は寒さが身にしみましたが、出発の9時過ぎには寒さも緩んできてツアー中はしのぎ易い気候でした。

参加された皆様も和気あいあいの中でツアーをそれぞれに楽しんでおられました。

令和7年度も同様の催しを企画します。ご期待ください。



三者共催

しめ縄づくり

12月1日(日)、「親子でしめ縄教室」を終始楽しい雰囲気のまま、真剣に取り組みました。どの家族も立派なしめ飾りをいくつもつくりあげました。指導は「北小松しめ縄の会」の5名の方々。あたかも face to face のように懇切丁寧に教えていただきました。



新春「書き初め・折り紙大会」

1月6日(月)10時～ 市民センター1階大会議室

持ち物 書道道具、上履き、新聞紙 汚れてもいい服装
(書道道具のない方にはお貸しします)

参加費：無料 申込み：不要 書道指導者が入ります
問い合わせ：小野コミュニティセンター 077-594-8100

小野学区空地空家対策事業

草刈り・剪定・軽作業

受付中

- 概要 ① 参考料金 10,000円 (1人8時間の作業報酬と諸経費)
② 空地(60坪程度)の除草(機械刈り)
庭の除草清掃・簡単な剪定(委細相談)・小倉庫の解体処分などの軽作業



申込用紙は小野コミュニティセンター窓口の前に置いています

広報紙「まちづくり交流館」ボランティア編集員募集中
希望者は小野学区コミュニティセンター窓口までお申し出ください

発行：大津市湖青一丁目1番地2 小野コミュニティセンター内 小野学区まちづくり協議会 責任者：近藤慶次郎

問い合わせ・ご意見 WEB: <https://www.onogaku.com/>の「投稿」欄 FAX: 077-594-3073 (内田)